

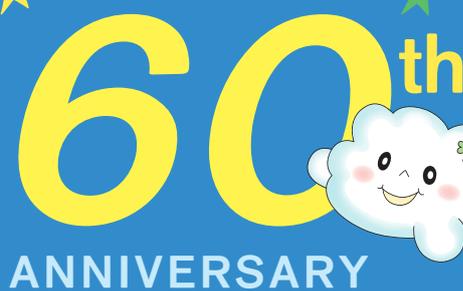
社会福祉法人府中市社会福祉協議会

創立60周年記念誌



60th
ANNIVERSARY

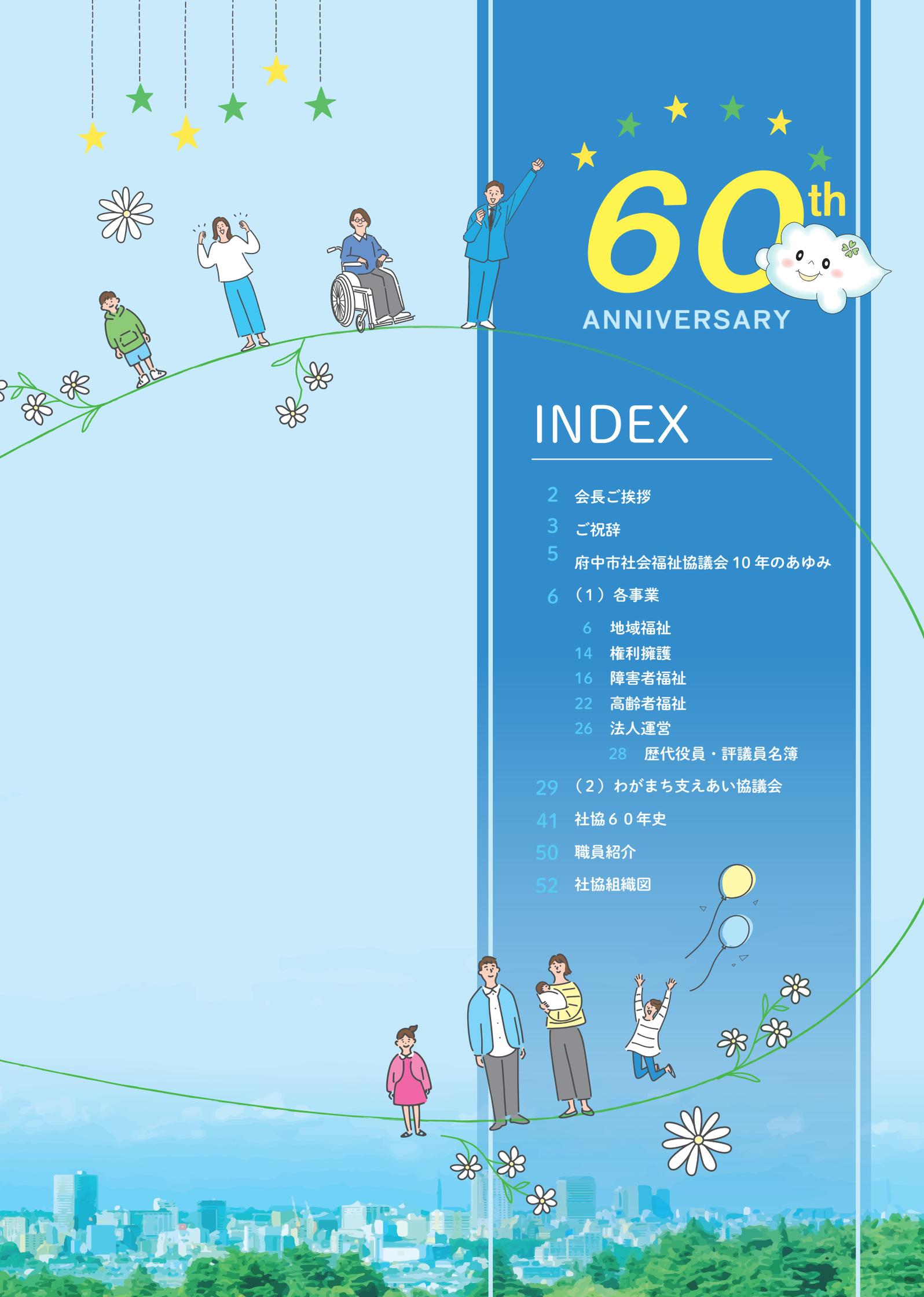




60th ANNIVERSARY

INDEX

- 2 会長ご挨拶
- 3 ご祝辞
- 5 府中市社会福祉協議会 10年のあゆみ
- 6 (1) 各事業
 - 6 地域福祉
 - 14 権利擁護
 - 16 障害者福祉
 - 22 高齢者福祉
 - 26 法人運営
 - 28 歴代役員・評議員名簿
- 29 (2) わがまち支えあい協議会
- 41 社協60年史
- 50 職員紹介
- 52 社協組織図





社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
会長 伊藤 敏春

府中市社会福祉協議会は、本年10月に創立60周年を迎えました。50周年からの10年間で、当協議会は、まちづくりを中心として、財政規模・組織体制が拡大する中、事業運営においても東京都内の市区町村社協の中でもトップクラスの社協になるなど目覚ましい発展を遂げてまいりました。これもひとえに永年にわたり当協議会を様々な面から支えてくださいました府中市を始めとして、東京都社会福祉協議会や府中市民生委員児童委員協議会、府中市自治会連合会など関係機関・団体、企業、さらには多くの市民の皆様のご理解とご協力の賜物と心からお礼申し上げます。また、同時に歴代の会長、副会長、理事、監事、評議員、各種委員会委員、会員各位の多大なご尽力に対しまして心から感謝申し上げます。

近年では、地球温暖化等に伴う甚大な自然災害が毎年のように発生していますが、当協議会では、各災害時に被災地社協の支援業務に職員を派遣するとともに、役職員、民生委員、ボランティアが一丸となって義援金の募金活動に取り組みました。また、東京でもいつ災害が発生するかわからない状況の中、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や災害ボランティアの養成等を継続して実施しています。

平成29年に施行された改正社会福祉法を始めとして、社会福祉を取り巻く環境はこの10年の間に大きな転換期を迎えました。当協議会では、平成27年度から令和2年度までの6か年を期間とした「第3次地域福祉活動計画 あったか府中ささえあいプラン」を策定し、「みんなが主役！

地域で支えあうまちづくり」を基本理念に、住民主体の福祉のまちづくりを実現するため、地域住民が直面しているさまざまな生活課題・福祉課題の解決に向けた活動目標を掲げ、新たな地域づくりのために地域福祉コーディネーターを各文化センター圏域に順次配置をしました。その後、第3次地域福祉活動計画の強化・発展版として令和3年度から令和8年度までを計画期間とした「第4次地域福祉活動計画 あったか府中ささえあいプラン」を策定しました。この計画では「気づく・動く・つながる!! みんなが主役! 地域で支えあうまちづくり」を基本理念に、地域課題・生活課題を地域住民の皆さんで気づいて・どう動き・どこにつなげられるだろうかを考え、実践する場として「わがまち支えあい協議会」の立ち上げを目指し、現在では市内11の文化センター圏域全てで立ち上がりました。これからも地域の皆様や府中市と連携し、「みんなが支えあう福祉のまちづくり」の実現のため、わがまち支えあい協議会の活性化に努めてまいります。また令和6年度からは「府中市子ども発達支援センター」の委託事業を受託する事となりました。府中市、市民の皆様、関係機関・団体のご期待に応えられるよう邁進してまいります。

地域福祉の推進は、当協議会がその中心的な役割を果たす機関として、役職員が一丸となり、未来に向けても取り組んでいく所存です。今後とも皆様の変わらぬお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ご祝辞



府中市長
高野 律雄

このたび、社会福祉法人府中市社会福祉協議会が、めでたく創立60周年を迎えられ、ここにその記念誌が発刊されますことを心よりお喜び申し上げます。

府中市社会福祉協議会におかれましては、昭和38年の創立以来、60年の長きにわたり、「地域でささえあうまちづくり」のため様々な福祉サービスを展開し、本市の福祉向上のため多大なる功績を残されてこられましたことは、誠にご同慶に絶えません。

これもひとえに、伊藤会長をはじめ、歴代の役員、並びに関係の皆様方の熱意とご尽力の賜物でございまして、改めまして敬意と感謝の意を表する次第でございます。

本市では、「府中市福祉計画」において、「みんなでつくる、みんなの福祉～人と人が支え合い幸せを感じるまちを目指して～」を基本理念に掲げ、「地域共生社会」に向けた取組を進めております。今後とも、高齢者、障害のある人、子ども等を含む全ての人々が、暮らしと生きがいを共につくり、高め合いながら、つながりあい、支え合い、安全で安心して暮らせるまちの実現に向け、全力を尽くしてまいります。どうか皆様方におかれましては、地域で支え合う福祉の向上のため、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

創立60周年を迎えられました府中市社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、関係の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



ご祝辞



社会福祉法人
東京都社会福祉協議会
会長 木村 恵司



府中市議会議長
手塚 としひさ



府中市社会福祉協議会 創立60周年を祝して

祝 辞

府中市社会福祉協議会創立 60 周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

この度、社会福祉法人府中市社会福祉協議会が、めでたく創立 60 周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

近年、地域のつながりが希薄化し、制度の狭間にあるニーズが増大するなど、地域福祉をめぐる課題は多様化、複雑化しています。さらに、コロナ禍で人々の生活が大きく変化するとともに、地域活動が長く休止したことにより、これまで把握されていなかった新たな地域課題が顕在化し、地域活動の担い手と今後の活動のあり方に影響が出ました。これらの課題に対しては、多くの関係者、関係機関が連携して取組みを進める必要性、重要性が増しており、社会福祉協議会にはその中核的な役割を担うことが求められています。

府中市社会福祉協議会におかれましては、昭和 38 年の創立以来、地域福祉推進の拠点として、市内の社会福祉事業の健全な発達及び、社会福祉に関する活動の活性化のためご尽力いただいておりますことに、深く敬意と感謝を申しあげる次第でございます。

このような中、府中市社協におかれましては、第 4 次府中市地域福祉活動計画の重点目標に「わがまち見えあい協議会の推進」を定め、地域課題の解決に取り組んでこられました。地域の困りごとを共有し自ら解決するしくみである、地域住民で組織された「わがまち見えあい協議会」は、住民主体の地域づくりそのものであると言えます。また、地域で個別支援と地域支援に取り組む専門職である地域福祉コーディネーターや生活支援コーディネーターを積極的、計画的に配置し、地域の関係機関との連携やネットワーク構築にも尽力されてきました。

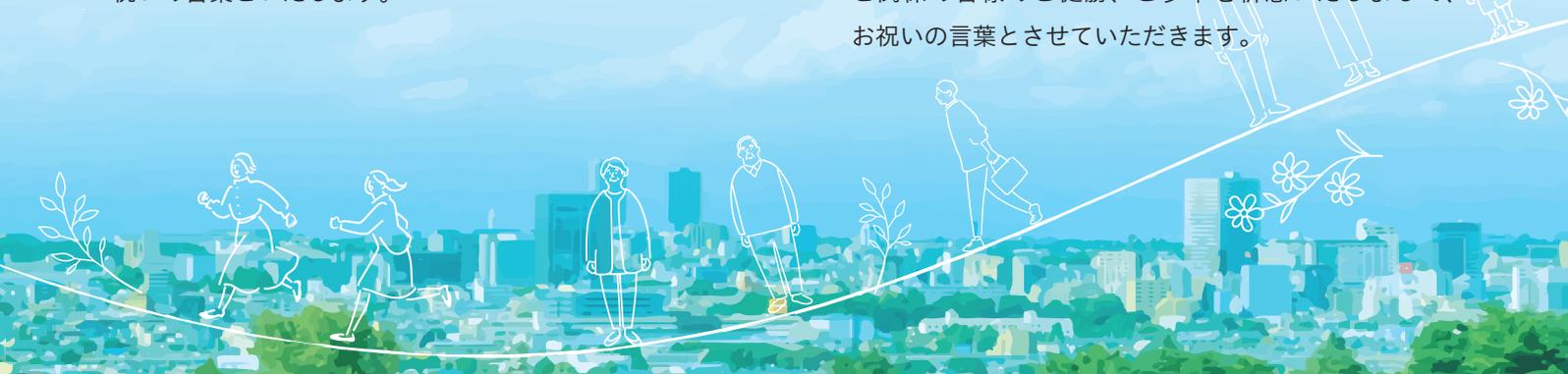
少子高齢化の進行や個人の価値観、ライフスタイルの多様化など、社会情勢や地域社会の変化に伴い、福祉に関する問題や課題についても複雑化・複合化したケースが増えております。また、市民の皆さまに安心して暮らしていただくためには、地域でお互いに支え合い、助け合える環境づくりが一層重要になっております。

今後とも地域住民との協働による活動を推進し、一層の飛躍をとげられますよう祈念申しあげまして、お祝いの言葉といたします。

このような中、府中市社会福祉協議会では「あったか府中ささえあいプラン」を策定され、本市で策定する「府中市福祉計画」との連携を図りながら、地域で支え合う互助を中心に、地域ぐるみの福祉を推進していただいております。

私ども市議会といたしましても、人と人が支え合い誰もが幸せを感じるまちづくりのために、皆様との連携をより一層深め、尽力していきたいと存じますので、今後ともお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、府中市社会福祉協議会のますますのご発展と関係の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



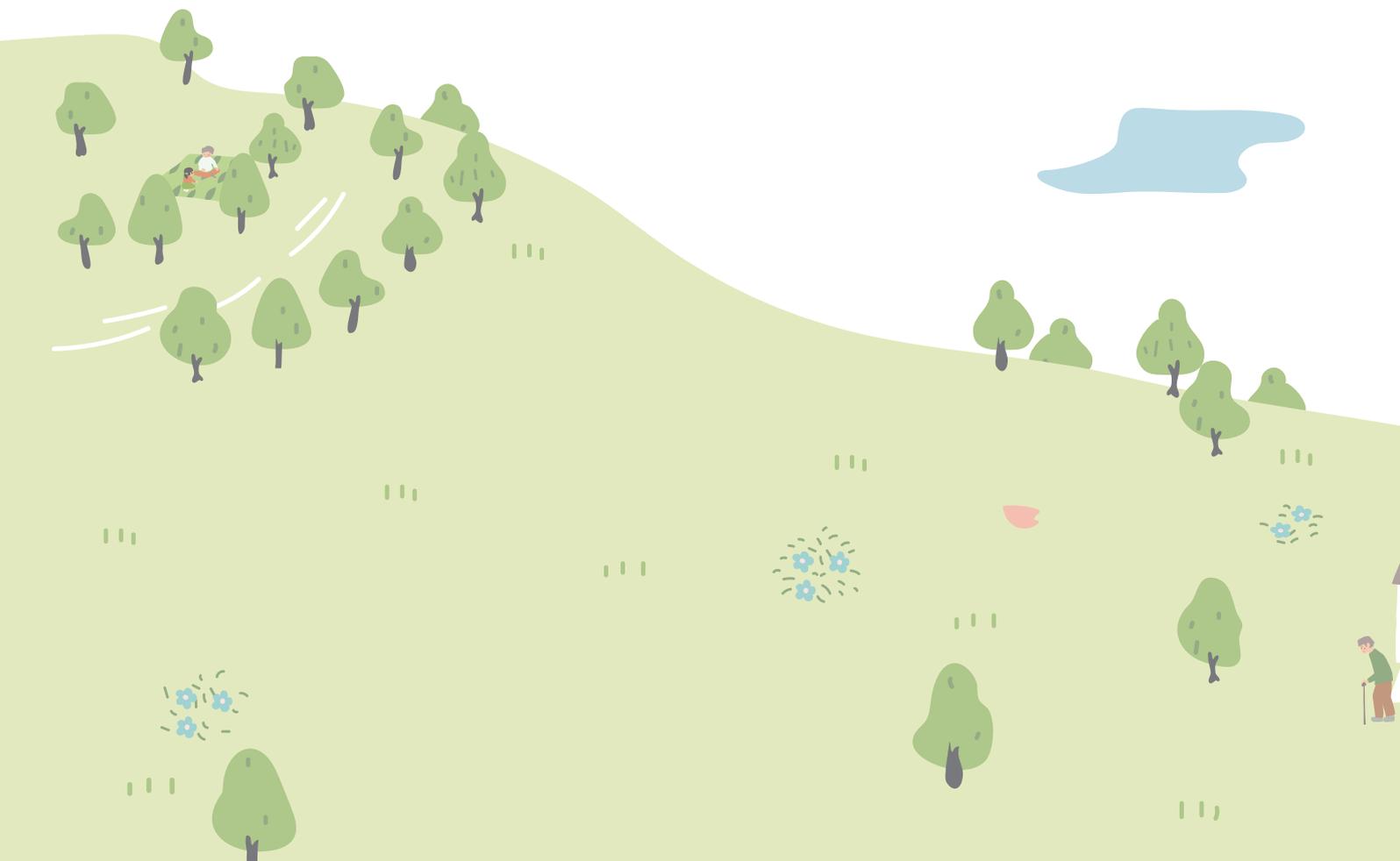


府中市社会福祉協議会

10年の あゆみ



平成25年度～令和4年度





平成
25年度

・ 第2次地域福祉活動計画の推進

「ふちゅう大好き！ささえあいプラン第2次地域福祉活動計画」
(後期計画—平成24年度から平成26年度まで)

・ 地域福祉コーディネーター設置の下地づくり

自治会で自主的に行われているさまざまな福祉活動やボランティア活動を支援するとともに、自治会やボランティア団体、関係機関等が連携し、身近な地域で住民同士が見守り、支えあう「小地域ネットワーク」を進める。

・ 有償在宅福祉サービス事業の充実

介護保険では補えない生活援助サービスなどの充実がより一層求められていることから事業の見直しを行った。



協力会員レベルアップ研修



協力会員レベルアップ研修



有償在宅福祉サービス活動の様子



・ 台風26号災害大島社協災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣

ミニ会食会事業（食事サービスボランティア研修会）

終了

開始 平成25年度

内容 食事サービスに携わるボランティアの発掘やスキルアップを図ることを目的に、ボランティアを対象に、「食品衛生講習会」や「料理講習会」、料理実習を実施。

「在宅サービスだより」の発行

終了

開始 昭和62年度

内容 有償在宅福祉サービスの利用会員・協力会員に発行。

ミニ会食会事業（どんぐりのつどい・ひなまつりのつどい）

終了

開始 平成25年度

内容 70歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアの手作り昼食と催しを通して交流の輪を広げてもらう会。“どんぐりのつどい”は11月～12月、“ひなまつりのつどい”は2月～3月に開催。



・ 福祉活動推進事業から地区社協モデル事業受託へ

多様化し複雑化する福祉課題にさらにきめ細やかに対応するため、東京都社会福祉協議会が進める「課題発見・解決志向型の地区社協モデル事業」を受託。

・ 地域福祉コーディネーター 各福祉エリアに配置

制度の狭間や支援につながりにくい福祉課題や生活課題解決のための地域福祉コーディネーターを配置し、住民主体の地域づくりを進める。

新規

ふれあいいいききサロン

内容 地域住民が主体となって、地域の高齢者や障害者（児）、子育て中の親子等を対象に身近な場所で定期的に地域活動を行っている団体や活動の立ち上げ・運営に関する相談支援を行う。

〈サロン交流会〉

サロン活動者、これから立ち上げようとしている人、興味のある人を対象にした交流会。



〈サロンマップの会〉

分野を越えたサロンマップの作成と作業を通してサロン活動者同士の関係づくりを行う。

〈サロンマップの作成〉

サロンマップを作成し市民へ周知することで、サロン活動の普及啓発と活動者への支援を行う。『ふれあいいいききサロンマップ』『わがまちサロンマップ』『ふちゅうの福祉施設マップ』を発行。



〈サロンマップ連絡会〉

サロン活動のネットワークづくりのための連絡会。



担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

小地域懇談会・世話人会

開始 平成 14 年度

内容 小地域懇談会の開催に向けて、地域の世話人による連絡会を実施。

終了

一人親家庭休養事業

開始 昭和 59 年度

内容 市内の小学生以下のお子さんがあるひとり親家庭を対象に、年 1 回日帰り・宿泊行事を実施。

終了

府中市保健福祉人材育成センター運営事業

開始 平成 6 年度

内容 高齢者、障害者、ひとり親家庭の増加や、多様化する保健福祉の需要に対応できる人材の育成を行う。

終了

平成
27 年度

第 3 次地域福祉活動計画(平成 27 年度～令和 2 年度)の推進

新規

内容 「みんなが主役！地域で支えあうまちづくり」を基本理念に、住民主体の福祉のまちづくりを実践するため、地域住民が直面しているさまざまな生活課題・福祉課題の解決に向けた民間の活動目標を示す。小規模な地域での住民相互の支えあいを推進する「わがまち支えあい協議会（地区社協）の設置」と、「地域福祉コーディネーターの配置」という二つの重点目標のもと、事務局体制も計画の実効性を高めるために再編する。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係



地域福祉コーディネーター活動

新規

目的 地域力の強化、包括的支援体制等の整備を目指し、住民主体の地域課題解決の体制づくりの強化、複合化・複雑化した課題に対する相談機能の充実を図る。

内容 文化センターエリアに各 1 名、計 11 名を配置。制度の狭間にある困りごとを抱えている方の社会的孤立の解消を図り、一人ひとりに寄り添った支援（個別支援）や、地域住民が一人ひとりの困りごとを地域全体の課題として捉え、地域住民が連帯意識を持って活動を創り出す支援（地域支援）を行う役割を担う。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

地域福祉リーダー養成研修

新規

目的 地域の支えあいのしくみづくり推進のため、住民意識の醸成、地域活動者となる人材の育成を目的とする。

内容 地域住民とのパイプ役を担っていただけるよう相談員の育成（地域なんでも相談員養成研修）と相談員同士の連携（地域なんでも相談員連絡会）を深め、地域のささえあい活動への積極的な参加を促すことを生活支援コーディネーター中心に進める。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係



わがまちタウンミーティングの開催

新規

目的 「わがまち支えあい協議会（地区社協）」の中心的な役割を担う人材を育成するとともに、市民の関心と気運を高める。

内容 講演会を年 1～2 回開催

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係



・ 福祉活動団体への支援（地域福祉活動助成金交付事業）

地域の福祉課題を住民が主体となって解決する取り組みや地域の高齢者・障害者（児）及び子育て中の親子等が、地域で安心して暮らすための活動等を行っている福祉活動団体に対して、助成金を交付。



フードパントリー



サロン活動

在宅福祉助け合い事業の金銭管理・財産保全

終了

開始 昭和 62 年度

内容 在宅福祉助け合い事業の利用会員を対象に、金融機関からの金銭の出し入れや支払い・預金通帳等の保管を行う。

平成
28年度



生活支援コーディネーターの配置

新規

内容 介護予防・日常生活支援総合事業に位置付けられた専門職。高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、住民同士の支えあいの取り組みや、生きがいづくり・自分らしく活躍できるための場づくりを進めていく役割を担う。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

困りごと相談会

新規

目的 地域にある生活課題の掘り起し・早期発見に努め、制度の狭間にある困りごとを抱えている方の社会的孤立の解消を図る。

内容 ちょっとした暮らしの心配事などを地域福祉コーディネーターに相談できる場所として「困りごと相談会」を各文化センターで毎週開催。
平成28年11月に押立文化センターエリアと武蔵台文化センターエリアで始まる。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係



片町文化センター困りごと相談会入口

まちづくりニュースの発行

新規

内容 昭和56年から発行の「ふちゅうボランティアセンターニュース」から「まちづくりニュース」に改め、より身近な地域活動情報の発信を行う。

担当 地域活動推進課 府中ボランティアセンター



ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付 (入学準備金、就職準備金)

新規

内容 高等職業訓練促進資金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格取得を目指すひとり親家庭の親に対し入学準備金、就職準備金を貸し付け、資格取得を促進し自立の促進を図る。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

平成
29年度

配食サービス事業

終了

開始 平成11年度

内容 一人暮らしの障害者の方へ、手作りの夕食の弁当を配達。献立の作成、調理、配達をボランティアグループ「きさらぎ」が担当。



平成
30 年度

- ・ 西日本豪雨災害 広島県呉市災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣



・ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施

災害発生した際は災害ボランティアセンターとして機能することが見込まれているため、全国から集まるボランティアと様々な地域ニーズのマッチングを担う災害ボランティアセンターの立ち上げを想定した訓練を職員全体研修として実施。



令和
元年度

社会福祉法人等の地域公益活動

新規

内容 社会福祉法の改正による地域における公益的な取組を実施する責務に対し、社会福祉法人に限らず、医療法人や NPO、一般企業に働きかけ、横断的な連携を図る地域公益活動連絡会の創設により、地域住民と一体となり地域課題の解決へ向けた事業を展開。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

- ・ 台風 19 号被害 佐野市災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣

災害支援ボランティアの推進

〔事業紹介〕

開始 平成 7 年度

内容 平成 7 年の阪神・淡路大震災をきっかけに府中市との間で「災害時におけるボランティア活動に関する協定」を締結し、災害支援ボランティア（防災ボランティア）を推進しています。災害発生時は災害ボランティアセンターを立ち上げ被災者支援の拠点となる役割もあり、災害ボランティアセンター設置運営訓練を例年実施。また災害ボランティアの育成のための、入門講座、災害ボランティアセンタースタッフ養成講座を定期的に開催しています。

令和
2年度

生活福祉資金貸付事業

〔事業紹介〕

開始 昭和 38 年度**内容** 低所得者世帯・障害者世帯・高齢者のいる世帯に対し、各種貸付制度の相談および貸付申請窓口業務・各種貸付制度の償還業務を実施。

この10年

災害（平成 28 年度熊本地震、平成 30 年度北海道胆振東部地震、令和元年度台風 15・19 号）や新型コロナウイルス感染症に関わる貸付が大幅に増加。令和 2 年には就職氷河期世代等への支援のための生活福祉資金貸付を実施。状況の変化に応じた貸付を行っている。

新型コロナウイルス感染症による緊急小口資金、総合支援資金の貸付

新規

内容 生活福祉資金貸付事業の中で新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金、総合支援資金の貸付を実施。**担当** 地域活動推進課 まちづくり推進係

・ 第 4 次地域福祉活動計画（令和 3 年度～令和 8 年度）の推進

開始

「わがまち支えあい協議会」の推進を重点目標に掲げた「第 4 次地域福祉活動計画（あったか府中ささえあいプラン）」の初年度。住民のみなさんが「気づく、動く、つながる」よう組織強化を図り、包括的相談支援体制を構築。

令和
3年度

・ 困りごと相談会の拡充 相談拠点の拡充

11 か所すべての各文化センターエリアにおいて、週に 1 回ずつ開催。令和 4 年 2 月から新町文化センター（月・水・木）で週 3 回開催。



支援対象児童等見守り強化事業

新規

内容 府中市要保護児童対策地域協議会が対象とする支援を必要とされたご家庭に対して、なんでも相談員等の地域の人材に臨時職員（訪問員）として定期的に訪問してもらい、利用できるサービスのご紹介や食料品・日用品などの提供を行い、日頃からの地域住民による見守り体制の強化を図る。また地域福祉コーディネーターの専門性を活かした個別支援や地域支援を行い、わがまち支えあい協議会へつなぎ地域で支援が必要な児童とその世帯を支える形をつくる。**担当** 地域活動推進課 まちづくり推進係

防災まち歩きの実施

新規

内容 府中市と共催で各文化センターを拠点に、障害当事者、地域の関係機関や市民と共に、地域の消防署・防災倉庫・避難所となる学校などを確認しつつ歩く企画、防災まち歩きを実施。毎年 2 か所を目的地に実施予定。**担当** 地域活動推進課 府中ボランティアセンター



産前産後家事・育児支援事業

新規

内容 産前産後のご家庭を対象として、協力会員（有償ボランティア）による家事・育児・付き添い・兄弟のお世話などの支援を行うことにより、ご両親の心身のご負担を軽減するとともに、父親・母親の孤立や産後うつを防ぎ、地域で安心して子育てができるように支援する。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係



産前産後家事・育児支援事業 協力会員研修

食の支援を通じたネットワーク事業

新規

目的 住民主体によるフードバンク活動を支援し、「わがまち支えあい協議会」と連携した食を通じた地域の支えあいの体制を作る。

内容 令和3年度にフードバンク府中と協定を締結。また、コロナ禍においてわがまち支えあい協議会で食の支援が活発になり、その活動の後方支援を行う。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係



ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付（住宅支援金）

新規

内容 住居の借りに必要となる資金を母子及び父子自立支援プログラム策定を受けて児童扶養手当の対象者であり東京都に住民登録している方に貸付け、就労又はより稼働所得の高い就労、子どもの高等教育の確保などに繋げ、自立の促進を図る。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

・ 第 41 回福祉まつり はじめて、オンラインで開催



新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催

・ 第4次地域福祉活動計画の推進

事務局内にプロジェクトチームを設置し、各事業の実現に向けて取り組む。

・ 困りごと相談会の拡充 相談拠点の拡充

住吉文化センター、武蔵台文化センターにおいて週3回の開催へ。



武蔵台文化センター困りごと相談会



住吉文化センター困りごと相談会

府中市住宅セーフティネット住まい相談事業

新規

内容 住宅確保要配慮者を対象とした住まい相談の窓口となり、府中市住宅課と連携し民間賃貸住宅への住居確保を目指すと共に、入居後の地域における安否確認や地域生活における各種相談を実施し、一体的に支援する。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係

・ 第42回福祉まつり はじめて、けやき並木・ペDESTリアンデッキで開催

来場者数 16,800 人。



・ 令和4年台風15号静岡市災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣

民間賃貸住宅あっせん事業

終了

開始 平成9年度

内容 住宅に困窮する高齢者世帯・障害のある方のいる世帯に民間の賃貸住宅をあっせんする。

権利擁護 10年のあゆみ



平成
25年度

・ 地域福祉権利擁護事業等の充実強化

地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）等や市民後見人養成事業の充実強化に努め、また「あんしん支援事業」を実施。

家族介護者支援事業 府中市介護者の会

内容 地域から孤立しがちな認知症家族介護者を地域で支えるため、介護者のつながりや居場所づくりを行う。養成講座を受講した介護者応援ボランティアが運営。

この10年 平成28年には若年性認知症介護者の会を開始。平成29年度末に「ふれあいの会」は発展的解消。コロナ禍では中止になることが多かった。現在は、介護者の会「けやき」「此花（このはな）」「雲雀」「若年性認知症介護者の会きらきら」を各月1回開催。

担当 権利擁護課 権利擁護係



新規



「未来ノート」 初版発行

新規



- ・ 「上手に老いる自己点検講座」を「古い支度講座」へ名称変更



・ 地域福祉権利擁護事業等の充実強化

利用者が100人を超える

- ・ 「古い支度カレッジ（旧：古い支度講座）」を開催し、認知症に対する理解を広めた。

平成
26年度

平成
27年度

・ 地域福祉権利擁護事業等の充実強化

支援体制の担い手である生活支援員養成講習修了者が100人を超える。

若年性認知症関係者学習会の開始

新規

内容 若年認知症の症例数は少なく、若年で発症するため家族の生活に直結する課題が多い。そこで相談支援を行う専門職や若年認知症の家族を対象に、当事者、家族に対する理解を深めるための研修会を開催。

担当 権利擁護課 権利擁護係



- ・ 若年性認知症介護者の会 開始
- ・ 成年後見人養成事業の充実
後見業務の担い手を拡大するため、社会貢献の気持ちから後見業務に取り組む意欲をもつ市民を対象に講習を開催。また、その修了者を後見活動メンバーとして登録し、連絡会やフォローアップ研修を実施。
- ・ 認知症タウンミーティングの名称を「認知症に関わる講演会」へ変更

平成
28年度

平成
29年度

- ・ 介護者応援ボランティアを養成するため介護者応援ボランティア養成講座を開催
介護者応援ボランティアフォローアップ研修、介護者応援ボランティア連絡会も開催。



- ・ 市民後見人の養成及び輩出

成年後見制度利用促進法に規定されたポイントを踏まえ、市民後見人の活動の幅がさらに広げられるよう、関係機関への働きかけを行い、意思決定支援と身上保護を重視した支援ができるよう努める。

高齢者虐待対応研修の開始

新規

福祉機器等リサイクル事業

終了

開始 平成4年度

内容 不要になった福祉機器を差しあげたい方とほしい方双方の橋渡しを行う。電話登録し、当事者同士で受け渡しをする。

- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者が担当生活支援員を市民後見人として後見制度に移行したケースが10名を超える

令和
元年度

住宅改修研修の委託終了

終了

令和
2年度



令和
3年度

- ・ 中核機関を受託

成年後見制度利用促進法で位置づけられた中核機関として、①広報機能、②相談機能、③利用促進機能、④後見人等支援機能、⑤不正防止機能を果たす役割を担う。

- ・ 中核機関としての市民や関係機関への周知

成年後見制度利用促進協議会を設置

新規

令和
4年度

高齢者虐待対応研修の委託終了

終了

東京都標準利用料に準じて利用料を改定。口座振替に対応。

認知症カフェ立ち上げ養成講座の開催

新規

障害者福祉 10年のあゆみ



平成
25年度

- ・ 4月から施行された障害者総合支援法を遵守した事業実施を行う
- ・ 子ども発達支援事業 保育所等訪問開始 **新規**
- ・ 特定相談支援・障害児相談支援事業開始（み～な） **新規**

相談支援事業（一般・指定特定・指定障害児相談支援）

〔事業紹介〕

開始 平成13年度

内容 障害のある方やその家族を支援するため、福祉サービス利用援助、社会資源や社会生活力の向上支援、当事者相談等の専門相談、専門機関紹介、権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化のための支援、ケース会議等実施、サービス等利用計画の作成、関係機関との連携を行う。

担当 心身障害者福祉センター 地域生活支援係



生活介護事業

〔事業紹介〕

開始 昭和57年度

- 内容**
- 1 日中活動支援：作業部門、生活実習部門の2部門でのグループ活動を行っている。作業療法士や理学療法士、音楽療法士等の専門職の支援を受け、充実した活動を提供できるように努めている。
 - 2 医療的ケアの提供：経管栄養、導尿、酸素吸入、膀胱留置カテーテル管理など看護師が対応している。
 - 3 行事（外出行事、季節行事等）：体験行事として電車やバスに乗っての外出など、普段の日中活動では味わえない体験ができる機会を設けている。また、新年会、節分、花火大会など季節行事を企画して楽しんでいる。



音楽療法



余暇（太鼓の達人に挑戦）



新年会



花火大会

この10年

平成25年度から胃ろうによる経管栄養の利用者の受け入れを開始。平成27年度から、従来の作業生活実習訓練事業を生活介護事業（法内）に移行。令和3年度には男性の導尿のケアにも対応。医療的ケアを必要とする方に対し、柔軟な対応ができるよう取り組んできた。また、毎年、利用者が楽しめるように活動プログラムを随時検討し、令和4年度には専門職（作業療法士、理学療法士、音楽療法士）の協力を得て、プログラムを見直し、日中活動の充実に力を入れた。この10年で利用者の平均年齢が上がり、親の高齢化も併せて進んでいる状況。

担当 心身障害者福祉センター 作業生活実習訓練係

機能訓練事業

〔事業紹介〕

開始 昭和 57 年度

内容 障害のある方に対し、麻痺の回復や機能的な向上、当事者自身の持つ能力を上手に使うこと、工夫して可能になることなど、幅広く『できること』を広げていけるよう支援する。

担当 心身障害者福祉センター 地域生活支援係

特別訓練



春のスポーツ大会
(グランドゴルフ)

通常訓練



言語療法 (ST)



作業療法 (OT)



理学療法 (PT)



秋のスポーツ大会
(風船バレーボール)

平成
27 年度

訪問支援事業

〔事業紹介〕

開始 平成 23 年度

内容 身体的・社会的に障害が重く通所施設の日中活動サービスをうけることのできない障害者に対し、自宅での個別支援プログラムに基づく創作活動、感覚活動、文化・芸術活動、自立に向けた機能訓練活動、社会参加に向けた活動などのサービスを提供する。

担当 心身障害者福祉センター 地域生活支援係



訪問支援の様子

・ 指定管理者制度に基づく第 3 期指定管理を受託

府中市立心身障害者福祉センターにおいて平成 28 年度から 5 年間の指定管理者制度に基づく管理運営事業の再指定を受ける。

平成
28 年度



・ 利用料金制度導入

府中市立心身障害者福祉センター条例の改正に基づき、機能訓練事業、作業生活実習訓練（生活介護）事業、児童発達支援事業及び緊急一時入所事業に利用料金制度を導入。

- ・ は～もにい 20周年

は～もにい運営事業

〔事業紹介〕

開始 平成8年11月

内容 喫茶での接客や厨房業務・市内障害者施設等の自主製品の販売業務などを通して社会参加し、作業、就労訓練を行っている。現在17名の仲間がそれぞれの力を発揮して働き、お客様をお迎えしている。

対象 市内在住の知的障害者

この10年

府中駅界隈の再開発が進み周辺環境も変化。またコロナ禍では休業期間や時短営業など今までにない状況も経験したが、地域の皆様に支えられながら今年で「は～もにい」は開所より27年、「御休み処」は16年を迎えることができた。

担当 地域活動推進課 まちづくり推進係 は～もにい



御休み処



は～もにい 販売コーナー

- ・ 子ども発達支援センターあゆの子 しみずがおか分室開始 **新規**

平成
29年度

子ども発達支援センターあゆの子 (子ども発達支援事業、児童発達支援事業)

〔事業紹介〕

開始 平成10年(児童発達支援事業 昭和57年)

内容 発達に遅れや偏りがある就学前の児童を対象に、相談から集団療育を柱とした発達の支援を行う。人と関わる力、生きる力を育むことを基本としている。発達相談、外来指導(個別・グループ)、児童発達支援事業(通園)、保護者支援(勉強会・研修会など)、関係機関支援(ケースを通じた連携・研修会・連絡会・保育園幼稚園等の訪問支援など)を行っている。

対象 市内在住の知的障害者

この10年

発達相談、外来指導のニーズの増加に分室の開設、支援提供場所の検討、提供体制の拡充などを行い対応してきた。また支援体制の充実(専門性強化のための採用・育成への取組)を図り、府中市の児童発達支援センター設置へ協力を行った。

担当 心身障害者福祉センター 子ども発達支援係



・ 利用者の安心・安全のための環境整備

府中市立心身障害者福祉センターにおいて、建物の老朽化に対応するため計画的な施設改修に努め、福祉機器の積極的な導入を行う。

・ 市民公開講座の実施 **新規**

広く市民を対象に障害者理解についての普及啓発を図るため、「小児期の発達障害の理解と支援」をテーマに市民公開講座を開催。



地域活動支援センターⅠ型（講座・講習会）

〔事業紹介〕

開始 平成 13 年

内容 講座・講習・学習会・地域社会との交流、関係機関の連携強化、専門的支援の提供、普及啓発等講座・講習・地域交流イベント等の開催、フリースペースの提供、自主グループの活動支援、広報・普及・啓発活動の実施、地域関係機関への専門的支援・連携を行ってきた。

この10年

平成 27 年からは肢体当事者相談員が学校へ出張し障害理解講座を開くなど地域に出ていくこと（アウトリーチ）を意識した企画作りを進めている。また、令和元年度から新型コロナウイルス感染症が拡大。緊急事態宣言等により、事業中止や延期が続いたが、感染予防対策を取りつつ実施している。

担当 心身障害者福祉センター 地域生活支援係



学習会



腰痛予防体操



出前講座



サマークラブ（音楽）



地域交流イベント（フラダンス）



子ども障害理解講座（手話）



サマークラブ（工作）



地域交流イベント（移動動物園）



子ども障害理解講座



平成
30年度

・ 環境整備

府中市立心身障害者福祉センターにおいて、事業継続計画（BCP）、感染症マニュアル、虐待防止マニュアル等のモニタリング（見直し研修）を行い、サービスの標準化を図った。



令和
元年度

・ 要配慮者利用施設の避難確保計画等の策定と各種マニュアル等のモニタリング

府中市立心身障害者福祉センターにおいて水防法の改正により定められた「要配慮者利用施設の避難確保計画」を策定した。

令和
2年度

・ 新型コロナウイルス発生時における業務継続計画（BCP）を策定

新規

・ 緊急一時入所事業が地域生活支援拠点として指定をされる

身体障害者福祉電話使用料 助成事業

終了

開始 昭和 51 年度

内容 要件に該当する身体障害者の方がいる世帯に電話使用料の一部を助成する。

緊急一時入所事業

〔事業紹介〕

開始 平成 9 年度

内容 (1) 緊急要件利用：介護者の入院や通院等、緊急かつやむを得ないときの利用。6泊7日以内。
(2) レスパイト利用：介護者の休養など、要件は問わず利用可能。年間合計4日間まで。コロナ禍中は緊急要件利用を優先して実施。令和4年度から介護人派遣事業所を4事業所に増やし、年2回連絡会を開催して情報共有しながら対応している。

この10年

担当 心身障害者福祉センター 地域生活支援係

令和
3年度

・ 福祉避難所としての機能の検討

地震災害に備えた福祉避難所機能について市と協議を進める。

・ 指定管理者制度に基づく第4期指定管理を受託

府中市立心身障害者福祉センターにおける第4期指定管理期間（令和7年度まで）を受け安心安全な施設運営と環境に配慮した施設の管理運営に努める。

・ 特定相談支援事業、障害児相談支援事業及び一般相談支援事業がそれぞれ地域生活支援拠点として指定される

子ども発達支援センターあゆの子
しみずがおか分室終了

終了

しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの閉館に伴い終了



・ 災害に備えた運営体制の充実

「多摩川の洪水時における避難確保計画」を一部改正し、継続して有事に備えた訓練及び研修等を実践。

令和
4年度

障害者就労支援事業
(東京都区市町村障害者就労支援事業)

〔事業紹介〕

開始 平成18年度

内容 概ね18歳以上の一般企業への就労を目指す障害者が安定して働き続けられるよう、就労面と生活面の支援を行う。

担当 心身障害者福祉センター 地域生活支援係



障害者就労の様子



余暇活動



高齢者福祉 10年のあゆみ



平成
26年度

・ 介護保険事業経営安定化に向けて

府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンターにおいて、介護保険事業における利用料金制度を導入。

府中市高齢者住宅管理業務 (押立町やすらぎ)

新規

平成 20 年度から受託している八幡町やすらぎに加えて、管理業務を開始。

一人暮らし高齢者等地域支援事業

終了

開始 平成 23 年度

内容 在宅の一人暮らし高齢者等に対して、地域での見守り活動、交流活動を支援する。サロン活動における支援など地域活動の交流の支援を行う。

〔事業紹介〕

府中ケアサポートセンター

開始 平成 18 年

内容 介護保険法における居宅介護事業、訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、障害者総合支援法における居宅介護・同行援護事業、地域生活支援（移動支援）事業等を実施。

・ 4 月から改正介護保険法が施行

・ 府中ケアサポートセンターの統合

効率的なサービスを提供するため、府中ケアサポートセンターを府中市立ふれあい会館から府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンターへ移転し、しみずがおか居宅介護支援センターと統合。

平成
27 年度

平成
28 年度

・ 指定管理者制度に基づく再指定

府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンターにおいて平成 28 年度から 5 年間の指定管理者制度に基づく管理運営事業の再指定を受ける。



地域包括支援センター

(事業紹介)

総合相談・支援相談

開始 平成8年度

内容 65歳以上の要介護高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して生活できるよう主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職がチームとなって、総合的な支援を行う。

対象地区 八幡町・押立町・清水が丘・白糸台（4～6丁目）

包括的・継続的 ケアマネジメント支援事業

開始 平成8年度

内容 介護支援専門員が抱える支援困難事例についての指導・助言、関係機関との連携体制の構築による介護支援専門員への支援、介護支援専門員が資質向上を図る取り組み、各関係機関とのネットワークづくりなど。

担当 地域活動推進課 地域包括支援センターしみずがおか

介護予防・ 生活支援に係る業務

開始 平成21年度～

内容 要支援認定者などに介護予防支援、介護予防ケアマネジメントを行う。

在宅医療介護連携推進事業

新規

内容 60歳以上の高齢者を対象にし、市民および医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談対応を行うことにより地域の在宅医療・介護連携の現状について情報収集を行い、医療介護連携の推進や在宅療養相談業務の支援技術の向上に役立てる。

担当 地域活動推進課 地域包括支援センターしみずがおか

平成
29年度

・ 改正介護保険法への対応

「住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支えあい体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とする。」ことを目指すことになったことから、「わがまち支えあい協議会」にその方策を反映する。

・ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の推進

予防給付から介護予防・日常生活支援総合事業に段階的に移行。

・ 府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの事業廃止が決定

府中市公共施設マネジメント推進プランにより、平成32年度末に事業廃止が決定。利用者等へのサービス低下にならないよう、円滑な事業の推進と効率的な経営に努める。廃止後の利用者の最適な環境を確保するため、他機関と協議・連携を図るなど準備を進める。

平成
30年度

府中市高齢者住宅管理業務（八幡町やすらぎ）

終了

令和
元年度

- ・ 府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンター事業の廃止を見据えた事業実施

廃止に向け利用者が減ったことから10月より土曜日を休業日にする。

介護予防推進事業

〔事業紹介〕

開始 平成17年度

内容 65歳以上の市民を対象に、介護予防・フレイル予防のためのプログラムを身近な会場で実施し、地域住民主体で体操・交流のできる身近な集いの場の支援をし、自主的な介護予防を促していく。



担当 地域活動推進課 地域包括支援センターしみずがおか

認知症対策事業

新規

内容 地域支援ネットワーク事業から変更され、認知症地域支援推進員を1名以上配置。認知症の方やその家族からの相談対応、認知症が疑われる方等に対する認知症初期集中支援チームを立ち上げるなど関係機関との連携した包括的集中的な支援、府中市認知症サポーター「ささえ隊」の養成など普及啓発、認知症家族介護者教室（オレンジサロン）の開催、認知症カフェの立ち上げの運営支援などを行う。

担当 地域活動推進課 地域包括支援センターしみずがおか

・ 3月末に府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンター事業の廃止

通所利用者及び家族の意向を踏まえながら、関係機関と連携し円滑に他施設等へ移行できるように努め、3月に指定管理制度を終了。



令和
2年度



・ 訪問介護事業などの業務の再編成

府中ケアサポートセンターしみずがおかの介護保険事業で行っている訪問介護事業等について、業務を再編成。

終了

敬老マッサージ事業

開始 昭和 39 年度

内容 敬老行事として年 1 回府中市はり灸マッサージ師会の社会貢献活動として大國魂神社の協力を得て、75 歳以上の市民に対してマッサージを実施。

令和
3 年度

・ 府中ケアサポートセンターの移転

4 月に旧府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンターからふれあい会館へ事務所を移転。



・ 地域包括支援センターしみずがおかの移転

4 月に旧府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンターから押立町に事務所を移転。

モデル事業 短期集中予防サービスの実施。

令和
4 年度



法人運営 10年のあゆみ



平成
26年度

- 改正障害者雇用促進法に基づき障害者雇用を開始

開始

- 社協事業 PR のため毎月 1 回府中駅前で街頭 PR 活動実施



平成
27年度

- 平成 27 年茨城県台風 18 号等災害義援金街頭募金活動実施



府中市立ふれあい会館 第 3 期指定管理業務開始

新規

内容 引き続き平成 29 年度までの府中市立ふれあい会館の会議室の利用受付、施設の維持管理等を実施。

担当 総務課 総務係



ふれあい会館

平成
28年度

- 熊本地震災害義援金街頭募金活動実施



平成
29年度

- 改正社会福祉法への対応

平成 29 年 4 月からの改正社会福祉法の施行に合わせて経営組織としてのガバナンスの強化など適正に対応。今後予定している役員改選等においても適切な対応に努めた。



エコキャップ収集活動

終了

開始 平成 19 年度

内容 市内の小中学校・自治会と連携し、ペットボトルキャップ（エコキャップ）の資源回収を行い、市民に地域福祉やボランティアに関心をもってもらう活動。

- 九州豪雨災害義援金 街頭募金活動実施

平成
30 年度



移転後のふれあい会館

・ 府中市立ふれあい会館移転

寿町 3 丁目から府中町 1 丁目に移転。それにともない法人事務局も移転。



移転後のふれあい会館入り口

・ 府中市立ふれあい会館第 4 期 指定管理業務開始

新規

新たに府中市立ふれあい会館において平成 30 年度から 5 年間の第 4 期指定管理者に指定された初年度。公共施設予約システムの運用開始。より地域に密着した地域福祉の拠点を目指す。



令和
元年度

- ・ 西日本豪雨災害義援金 街頭募金活動
- ・ 北海道胆振東部地震災害義援金 街頭募金活動



マスコットキャラクターふわり誕生

新規

内容 親しみやすいマスコットキャラクターを通じて、社協の PR・宣伝普及を行う。

ふわり誕生まで 府中市在住で美術家・絵本作家の本多真紀子さんが、当協議会をイメージしたキャラクターとして“くも”をモチーフにデザインしてくださる。

このキャラクターの愛称を令和元年 7 月～8 月に公募したところ、127 通の応募があり、その中から“ふわり”という愛称に決定し、社協のマスコットキャラクターふわりが誕生。ふわりは府中の空から「困った人はいないかな?」「手助けすることはないかな?」と見守っていて、す～と飛んでかけつける。時には日陰になる場所を作ったり、雨を降らして潤したりしてくれる。また仲間のくもと相談もする。自分でできることを考えながら、地域で支えあうまちづくりをみんなで進めていきたいと思っている。

担当 総務課 総務係



ふわりグッズ アンブレラマーカー



ふわり 車輛ステッカー



広報編集委員会

終了

開始 昭和 45 年度

内容 広報紙「ふちゅうの福祉」の企画・校正等を検討する委員会。

令和
4 年度



歴代役員・評議員名簿



● 理事・監事

役職名	平成 24 年 6月15日～	平成 26 年 6月15日～	平成 28 年 6月15日～	平成 29 年 6月15日～	令和元年 6月17日～	令和 3 年 6月15日～	令和 5 年 6月15日～
会長	伊藤 敏春	伊藤 敏春	伊藤 敏春	伊藤 敏春	伊藤 敏春	伊藤 敏春	伊藤 敏春
副会長	江田 廣子	横山 年子	横山 年子	芝辻 義治	林 比典子	北島 章雄	北島 章雄
	横山 年子	山崎 猛	芝辻 義治	林 比典子	北島 章雄	目時 寿美子	目時 寿美子
	山崎 猛	遠田 宗雄	木下 義明	木下 義明	柗 昌一	奈良崎 久和	前川 浩子
	比留間 利蔵	福本 千夏	手塚 歳久	手塚 歳久	目時 寿美子	遠田 宗雄	-
常務理事	遠田 宗雄	手塚 歳久	-	西村 陸	高津 みどり	-	-
	矢ヶ崎 一幸	平野 耕市	芦川 伊智郎	芦川 伊智郎	芦川 伊智郎	芦川 伊智郎	深美 義秋
	鹿島 宏之	芦川 伊智郎	鹿島 宏之	鹿島 宏之	深美 義秋	深美 義秋	加藤 哲康
会計理事	平野 耕市	鹿島 宏之	-	深美 義秋	-	加藤 哲康	-
	榎本 高士	山村 憲太郎	岡林 健人	-	-	-	-
理事	山村 憲太郎	-	-	-	-	-	-
	木下 義明	木下 義明	持田 将俊	宮崎 貞男	久保寺 治	真鍋 美一	真鍋 美一
	小峰 光美	木越 みどり	谷合 隆一	飛澤 明夫	飛澤 明夫	小川 昭仁	小川 昭仁
	佐藤 正教	持田 将俊	宮崎 貞男	小林 久恵	小林 久恵	平泉 順子	平泉 順子
	能勢 淳子	保坂 昌代	田中 陽子	岡林 健人	遠藤 純	小林 久恵	奥山 弘子
	岡田 ティ子	谷合 隆一	平泉 順子	真鍋 美一	真鍋 美一	遠藤 純	篠原 健
	林 比典子	大木 榮詮	進藤 サエ子	原 健作	小川 昭仁	久保寺 治	久保寺 治
	鈴木 政博	須藤 春子	小林 久恵	平泉 順子	平泉 順子	飛澤 明夫	倉光 互
	中込 健二郎	平泉 順子	後藤 紀子	谷合 隆一	高野 佳子	倉光 互	朝倉 俊夫
	保坂 昌代	進藤 サエ子	川田 誠	高野 佳子	赤岩 直	高野 佳子	矢ヶ崎 幸夫
	加藤 礼子	小林 久恵	並木 茂勝	関根 昌一	村越 功一郎	赤岩 直	柏木 直人
	久保田 摩耶子	後藤 紀子	-	村越 功一郎	-	柏木 直人	-
	平泉 順子	川田 誠	-	-	-	-	-
	小林 久恵	並木 茂勝	-	-	-	-	-
	後藤 紀子	-	-	-	-	-	-
	芦川 伊智郎	-	-	-	-	-	-
	川田 誠	-	-	-	-	-	-
	堤 薫	-	-	-	-	-	-
	並木 茂勝	-	-	-	-	-	-
	遠藤 重太郎	松山 晃	松山 晃	松山 晃	松山 晃	松山 晃	松山 晃
監事	松山 晃	朝倉 俊夫	朝倉 俊夫	鳥羽 和子	鳥羽 和子	鳥羽 和子	吉野 由紀子
-	-	-	鳥羽 和子	-	-	-	-

● 評議員

役職名	平成 24 年 6月15日～		平成 26 年 6月15日～		平成 28 年 6月15日～		平成 29 年 4月1日～		令和 3 年 6月15日～
評議員	伊藤 かつ子	玉井 榮子	伊藤 かつ子	奥田 俊五	門脇 高次	長島 明道	石川 久子	森元 俊太郎	林 宏信
	三島 悦子	佐伯 ヨシ子	真鍋 美一	下條 輝雄	真鍋 美一	山上 稔	佐藤 ミドリ	奈良崎 久和	市川 真理子
	真鍋 美一	松本 恵子	大日方 公子	島田 幹子	水越 正	奥田 俊五	高澤 久美子	横田 実	石川 敬子
	大日方 公子	石川 謙一	原田 まち子	山上 稔	原田 まち子	下條 輝雄	林 比典子	佐藤 新悟	森元 俊太郎
	原田 まち子	山本 裕章	林 比典子	杉村 康之	佐藤 ミドリ	島田 幹子	武野 純子	-	高澤 久美子
	横山 須美子	大木 榮詮	武野 純子	奈良崎 久和	林 比典子	奈良崎 久和	渡辺 たき子	-	武野 純子
	佐藤 ミドリ	藤原 源郎	田野倉 晴美	遠藤 弘美	武野 純子	阿部 裕樹	矢島 道子	-	小林 謙二
	武野 純子	大木 稔	渡辺 たき子	阿部 裕樹	田野倉 晴美	久米 敏文	小牧 直子	-	渡辺 たき子
	林 比典子	山賀 浩之	田中 清美	久米 敏文	渡辺 たき子	金森 泰	原田 君枝	-	矢島 道子
	竹内 砂恵子	松本 昌司	北島 章雄	渡邊 信	尾崎 晴子	宮崎 浩一	石川 謙一	-	今喜 夢トシエ
	清水 松枝	堀江 勇介	吉田 ヒサ子	宮崎 浩一	田中 清美	鈴木 万里子	須藤 光忠	-	石川 謙一
	糟谷 一夫	竹内 たえ子	佐々木 英子	内藤 寿美子	北島 章雄	-	河内 保弘	-	箕輪 和子
	田野倉 晴美	皆川 しづ子	矢ヶ崎 綾子	-	吉田 ヒサ子	-	金子 重明	-	後藤 純子
	渡辺 たき子	鈴木 益子	石川 謙一	-	佐々木 英子	-	田中 陽子	-	伊藤 仁
	柴崎 金勝	仙波 節子	谷合 隆一	-	矢ヶ崎 綾子	-	岡田 昭太郎	-	松村 信幸
	塩澤 千鶴	長島 明道	高野 佳子	-	小牧 直子	-	林 宏信	-	三浦 信宏
	片山 正明	松本 ヤス子	藤原 源郎	-	石阪 規容子	-	河西 道子	-	鹿島 由美子
	田中 清美	奥田 俊五	宮崎 貞男	-	石川 謙一	-	村木 慶子	-	堀内 明宗
	比留間 アキ子	下條 輝雄	大木 稔	-	高野 佳子	-	鹿島 由美子	-	鈴木 光治
	芝辻 義治	島田 幹子	伊藤 富夫	-	鈴木 正弘	-	堀内 明宗	-	井上 博正
	北島 章雄	山上 稔	松本 昌司	-	須藤 光忠	-	山上 稔	-	渡部 悦行
	神山 誠吾	横田 実	柴崎 金勝	-	寺島 清友	-	松本 幸次	-	渡辺 将
	吉田 ヒサ子	持田 剛史	酒折 一武	-	黒米 俊哉	-	並木 茂勝	-	西埜 真美
	佐々木 英子	遠藤 弘美	皆川 しづ子	-	岡田 昭太郎	-	鈴木 光治	-	柄澤 地平
	井上 摩利子	久米 敏文	柴田 稔	-	酒折 一武	-	近藤 登	-	-
	今喜 夢トシエ	渡邊 信	仙波 節子	-	佐藤 勝美	-	鈴木 栄美子	-	-
	鈴木 政博	宮崎 浩一	長島 明道	-	柴田 稔	-	柴田 稔	-	-
	矢ヶ崎 綾子	大隅 要之助	松本 ヤス子	-	村木 慶子	-	鈴木 尚文	-	-



わがまち支えあい 協議会

10年のあゆみ

わがまち支えあい協議会とは

(1) 立ち上げを目指すに至った背景

平成 26 年度に小地域懇談会での話し合いや、アンケート等を実施し、地域の様々な困りごとがわかってきました (ex. 社会的孤立、ひきこもり、近隣のおつきあいが希薄、住民同士のマナーの低下、若い人たちの参加が得られない、孤独死、認知症高齢者の増加、担い手がいないなど)。

その中には、公的な制度では解決が難しい困りごともありました。

誰もが安心して自分のまちで暮らすためには、こうした個人の困りごとを「我が事」として捉え、一人ひとりの困りごとに寄り添い、解決に向けたたくみづくりが必要です。

わがまち支えあい協議会とは、住民の皆さんが、より身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気づき、一緒に解決していくしくみです。

(2) わがまち支えあい協議会の役割

- ア 地域にある課題・心配事をキャッチする。
- イ 様々な立場の人が集まり、解決に向けたアイデアを出し合う。
- ウ 地域のできる活動を生み出す。

※文化センターエリアごとの立ち上げを目指し、現在は全 11 文化センターエリアで立ち上がりました。



中央ささえあいの会

スロージョギング

みんなでささえあえるまちづくり
～困ったときはお互いさま・心のバリアフリー～

発足

令和2年4月

圏域

寿町1・2丁目（3丁目の一部）、幸町1・2丁目、
府中町、晴見町1・2丁目、宮町、宮西町1丁目、
八幡町、緑町、日吉町、天神町1・2丁目

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
公的サービスでは難しいような、ちょっとしたお手伝い活動をやるにあたり、地域にニーズがあるのかアンケートをしよう。		アンケート調査 平成30年度 ちよこっと支援を検討するにあたり、そもそも必要とされている活動なのかアンケートを実施
アンケート結果をもとに、ちょっとしたお手伝い活動を検討。		ちよこっと支援 平成30年度開始 電球交換やゴミ出しなどの30分程度のちょっとしたお手伝い活動
障害があってもなくても、子どもも大人も、どなたでも集える居場所がほしい。日中は仕事等で忙しい方も参加できるよう、夜に開催してはどうか。		よるカフェ・つながり 平成30年度開始 どなたでも集える居場所、地域の声を拾う場。日中は忙しい方なども来られるように夜に開催
会のことを、より多くの方に知ってもらいたい。担い手を増やしたい。		PR活動 令和2年度 福祉まつりでPRブース出展→感染症拡大防止のため中止 スーパーの前で声をかけながらチラシを配布→感染症拡大防止のため中止

活動の様子



話し合いの様子



よるカフェ・つながり



よるカフェ・つながり
(地域の声を拾う「ささえあいボード」)



ちよこっと支援



ささえあいの会 ~白糸台・若松町・清水が丘・小柳町~

スロージョギング

世代を越えて顔見知り

発足

令和3年4月

圏域

小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目、若松町1・2丁目・白糸台（車返団地を除く）

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
<p>地域住民のちょっとお手伝いしてほしいという活動を通じて地域とつながろう！ 通所のためのバス停まで迎えに来てほしい。車いすの操作を手伝ってほしい。</p>		<p>令和元年度開始</p> <p>ちょこっとお手伝い</p>
<p>わがまち支えあい協議会のことを、より多くの方に知ってもらいたい！担い手を増やしたい！</p>		<p>令和2年度開始</p> <p>アンケートを実施。協力者説明会を開催。（感染症拡大防止のため令和3年度に延期）</p>
<p>学校の先生より「登校時に危険な横断歩道があり、保護者が交代で見ているが、毎日のことなので、お手伝いしてくれる人がいると嬉しい」との情報。</p>		<p>令和2年度開始</p> <p>若松小学校登校時見守り活動</p>

活動の様子



アンケートの実施



みんなのつどい 外観

みんなのつどい しいらしいの様子



若松小学校登校時見守り活動



にしふエリアささえ愛の会

スロージョギング

地域のつながりをつくろう！
いつでも声をかけあえる・支えあえる地域にしよう！

発足

令和3年4月

圏域

東芝町、西府町、日新町（1～4丁目）、本宿町、美好町（3丁目の一部）

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
サロンをする中で、「普段からの話し相手がほしい」「サロンに行くまで付き添ってほしい」という声をキャッチする。		地域アンケート 令和元年度
活動を始めるためにも担い手が必要。		ちょこっとお手伝い 令和元年度開始
児童が事故にあわないように見守りをしたいが、児童の見守りをするボランティアが減っている。		ちょこっとお手伝い協力者の説明会 令和元年度
		学童クラブからの帰宅同行 令和2年度開始

活動の様子



わがまちサロンにしふらっと！の様子



話し合いの様子



ちょこっとお手伝い協力者説明会



ちょこっとお手伝い



武蔵台・北山・西原ささえあいの会

スロージョギング

いざという時のために顔見知りの輪を広げよう!

発足

令和3年4月

圏域

武蔵台、北山町、西原町

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
顔見知りの輪を広げたいけれど、地域に集まる場所がない。		平成30年度開始 北山町に続き、武蔵台でも「みんなのひろば」を開始
		令和2年度開始 お便り配布
困りごとの把握と会のPRをしたい。		令和元年度開始 「地域アンケート」実施
地域の活動に出てこない・出てこれない人ともつながりたい。見守りの体制を作りたい。		令和2年度開始 ちょこっとお手伝い
個人で行っていたフードパントリーを、わがまち支えあい協議会で行ってほしい。		令和2年度開始 フードパントリー

活動の様子



みんなのひろば



フードパントリー



話し合いの様子





新町ささえあいの会

スロージョギング

支えあい、助け合い、住みよい地域を

発足

令和3年4月

圏域

新町、栄町、浅間町、幸町3丁目、天神町3・4丁目、晴見町3・4丁目

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
自分が高齢になった時に近くに気軽に行ける場所がない。元気うちから自分が行きたい居場所が欲しい。		ふれあいサロンほどほど <small>平成30年度開始</small>
孤食が増えている。子どもだけでも来られる食事ができる居場所が必要。		木曜サロン <small>平成30年度開始</small>
高齢化率が高い圏域。ちょっとしたことで困っている高齢者がいるのではないか。		住民同士のちょっとしたお手伝い「地域アンケート」 <small>令和元年度開始</small>
住民同士の「お互いさま」「ささえあい」のちょっとしたお手伝い活動をしたい。		新町子どもカレー食堂（フードパントリー） <small>令和元年度開始</small> コロナ禍でのサロン再開検討 <small>令和2年度</small>

活動の様子



ふれあいほどほどサロン



木曜サロン

栄町金曜サロン



話し合いの様子





住吉・分梅・南町ささえあい協議会

スロージョギング

1人ぼっちを作らない、
笑顔があふれる地域をつくる

発足

平成 31 年 4 月

圏域

住吉町、南町、分梅町 2～5 丁目

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
ちょっと困っている人がいるなら手伝ってあげるのがこの会。		令和元年度開始 「ちょこっとお手伝い」のお試しを開始
子どものニーズを改めて調査したい。		令和 2 年度 2つの小学校でアンケート実施
南町にもおかえり広場を必要としている子がいるはず。		令和 2 年度開始 おかえり広場南町
地域の新たな担い手を集めたい。生活支援のニーズを探りたい。		令和元年度 地域アンケート実施

活動の様子



おかえり広場



だれでもふらっとサロン



住吉文化センター地域まつりに出展



話し合いの様子



わがまち支えあいの会 ～小柳・是政・清水が丘エリア～

スロージョギング

住民同士の助け合いの意識を広める
今あるサービス・支援では拾いきれない課題に対応していく

発足

令和2年6月

圏域

是政、小柳町2丁目・4～6丁目、清水が丘1・2丁目

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
<p>わがまち支えあい協議会をもっと知ってもらいたい。地域団体や自治会とわがまち支えあい協議会がつかない機会がない。</p>		<p>HUG & 懇談会 平成30年度開始 HUG体験から日頃からの近所同士の顔の見える関係づくりが大切なことを知ってもらおう。自治会を中心に実施。 ※ HUG…避難所運営ゲームの略</p> <p>是政文化センター地域まつり（7月）文化祭（9～10月）に参加。地域団体とのつながりづくりとPR 平成30年度開始</p>
<p>子ども食堂を実施する団体から「是政地区は需要が多いが、会場が見つからず実施できていない」という声を聞いた。</p>		<p>ひがしふちゅう駅前子ども食堂 平成30年度開始</p>
<p>小柳町支え愛の会の4.5.6丁目のちょこっとお手伝いの担い手を募りたい。利用したいお手伝いの内容を知りたい。</p> <p>わがまち支えあい協議会でできそうな困ったことを聞く場がない。困っていることは顔見知りにならないとなかなか話せない。</p>		<p>散歩会 令和2年度開始 地域のつながりづくりとPR。だれでも参加できる活動。動く「あいさつし隊」(PR活動)のイメージ。</p>

活動の様子



ひがしふちゅう駅前子ども食堂



文化センター地域まつりへ出展



府中第八小学校登校見守り



話し合いの様子



わがまちありすの会 ～朝日・多磨・紅葉・若松～

スロージョギング

みんなが知り合いウキウキワクワク
そしてありがとう

発足

令和3年4月

圏域

朝日町、多磨町、紅葉丘、若松町3～5丁目

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
<p>買い物するところが近くになくて困っている。ちょっとした困りごとを手伝ってほしい。</p>		<p>ゆる～い生活支援 ～ありすの手～ 買い物代行、園児の送迎、精米、など30分程度のお手伝い 1回100円</p> <p>平成30年度開始</p>
<p>地域にわがまち支えあい協議会のことをPRしたい。</p>		<p>ポスティングや店舗・駅前チラシ配り</p> <p>平成30年度開始</p>
<p>知的に障害がある方が相談できる、悩みを話せる場がない。目に見えにくい障害があることを地域に知ってほしい。</p>		<p>てばなす ～子の発達に不安のある 家族の交流会～</p> <p>平成30年度開始</p>
<p>学校の先生より「登校時に危険な横断歩道があり、保護者が交代で見ているが、毎日のことなので、お手伝いしてくれる人がいると嬉しい」との情報があった。</p>		<p>若松小学校登校時見守り活動</p> <p>令和2年度開始</p>
<p>コロナ禍で食糧支援が必要な方がいる。食べきれなくて余っている食品を寄付したい方がいる。</p>		<p>フードパントリー フードドライブ</p> <p>令和2年度開始</p>

活動の様子



てばなすの様子



フードパントリーの様子



互ちそう会の様子



話し合いの様子



押立・車返ささえあい協議会・・・略称OKS

スロージョギング

ささえ て ささえられて OKっす！

発足

平成 28 年 4 月

圏域

押立町、車返団地（白糸台を含む）

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
定年退職後の男性が、気軽に地域参加できるきっかけが作れないだろうか？		男の料理教室 平成 30 年度開始 男性の地域デビューのきっかけとして、男性限定の料理教室を開催
学校や学童クラブ以外に、小中学生が立寄れる場所が少ない。自習できるようなスペースがあるといい。		地域の寺子屋 令和元年度開始 子どもが自由に来て、宿題をするなどして過ごせる場所を実施
コロナ禍で食の確保が難しい子育て世帯が増えていると聞いた。		フードパントリー 令和 2 年度開始
フードパントリーをする中で、「寄付をしたい」という方がいた。また、フードロスの問題にも取り組めるといい。		フードドライブ 令和 2 年度開始
小さい子どもがいる親御さんたちが、親子で過ごせる場所が近くにあまりない。		あそぶすばこ 令和 2 年度開始 子ども連れで参加できる居場所
平成 27 年度にアンケートをしてから時間がたっているため、今現在の地域のニーズを知る機会を作りたい。また、協力者も募りたい。		謎解き地域ラリー 令和 2 年度開始 子どもたちが楽しみながら地域を知ることができるイベントを、地域の自治会との連携で開催
南白糸台小学校の先生から、「信号が無く、車の交通が多い交差点があり、児童の下校が心配」という声を聞いた。		南白糸台小学校下校見守り活動 令和 2 年度開始

活動の様子



ちょこっとお手伝い



にこにこカフェ



フードパントリー



南白糸台小学校
下校見守り



話し合いの様子



ささえあい四谷

スロージョギング

高齢者から子どもまで、地域で孤立した人を作らない
地域で色々な活動をしている個人・団体とつながるようにする

発足

平成 30 年 4 月

圏域

四谷、日新町 5 丁目

活動内容



困りごと	話し合い	解決策
「ささえあい四谷」を地域の方々に知ってもらい、参加者を増やしたい。		平成 30 年度開始 年 1 回（2 日間）、ご近助会の協力を得ながらフリーマーケット開催
		地域アンケート実施 令和元年度
		地域の団体等への PR 令和元年度開始
菜々のつどいができなくても参加者の方とつながっておきたい。		お便り配布 令和 2 年度開始
子どものニーズを改めて調査したい。		2 つの小学校でアンケート実施 令和 2 年度
コロナ禍でも出来る活動をしたい。困っている人に手を伸ばしたい。		フードドライブ 令和 2 年度開始

活動の様子



ゆうやけ四谷



フリーマーケット



話し合いの様子



フードドライブ



菜々のつどい



かたまち支えあいの会

スロージョギング

地域住民や団体と顔の見える関係づくり

発足

令和3年4月

圏域

片町、日鋼町、寿町3丁目（一部を除く）、分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目、美好町（3丁目の一部を除く）、矢崎町

活動内容



わがまち支えあい協議会をもっと周知して仲間を増やしたい。地域で何が必要とされているか知りたい。

地域で居場所を作りたい。顔の見える関係づくりをしたい。子どもを中心とした多世代交流をしたい。

地域の居場所を増やしたい。孤食を解消したい。

活動を知ってもらいたい。コロナ禍でもできることはないか。新たな人とつながりたい。

困りごと

話し合い

解決策



平成30年度

地域懇談会「片文ささえ愛キャラバン」

令和元年度

「住民アンケート」の実施

令和2年度

ちょこっとお手伝い協力者説明会

令和2年度開始

「ちょこっとお手伝い」(生活支援)

令和元年度

「ささえ愛ぽかぽかサロン」

令和元年度

「だんらんサロン」

令和2年度開始

「フードドライブ」

令和2年度開始

「PR活動」

活動の様子



ささえ愛ぽかぽかサロン
(保育園での開催)



ちょこっとお手伝い



話し合いの様子



協力者説明会



片文ささえ愛キャラバン



社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

社協 60 年史

当協議会は、昭和 38 年 10 月に任意団体として発足し、昭和 45 年に社会福祉法人格を取得しました。

発足以降、現在に至るまで様々な福祉事業を実施し、時代の変遷とともに事業内容も多種多様化してきました。

このコーナーでは、当協議会のこれまでの 60 年の主な活動内容を、写真とともに振り返ります。



社協のあゆみ



世相



- 昭和 38 年 10 月 29 日 府中市社会福祉協議会設立
- 世帯更正資金貸付事業
- 緊急生活費援護
- 歳末たすけあい運動（募金・見舞金の贈呈）
- 赤い羽根共同募金運動

昭和 38 年度

1963

- ケネディー大統領暗殺

- 漫画映画鑑賞会
- 新入学児童に学用品贈呈

昭和 39 年度

1964

- 東京オリンピック開催
- 佐藤榮作内閣発足

- 任意団体として東京都の認可決定（会員数三千七百名、予算額百三十万円）
- 敬老マッサージ

昭和 40 年度

1965

- アメリカ軍による北爆開始
- いざなぎ景気始まる

- 特殊学級修学旅行に対する援助
- たすけあい貸付事業
- 市内盲人に交通安全杖ポケットシグナル贈呈

昭和 41 年度

1966

- 総人口 1 億人突破
- ビートルズ来日
- 新三種の神器（カラー TV・車・クーラー）

- 低所得世帯の児童生徒に卒業記念アルバム代補助

昭和 42 年度

1967

- 公害対策基本法公布
- 非核三原則表明

- 働く母の休日事業に対する援助
- 筋ジストロフィー患者への助成
- 母子家庭及び母子寮児童の夏期錬成に援助

昭和 43 年度

1968

- 小笠原諸島返還協定調印
- 3 億円強盗事件（府中）
- 東大紛争

- 保育園砂場整備援助
- 身体障害者を歳末チャリティーショーに招待

昭和 44 年度

1969

- アポロ 11 号月面着陸

- 子供会育成会に援助
- 高齢者職業紹介に協力
- 身体障害者集団見合いに援助
- 市内ねたきり老人に見舞金贈呈
- 法人化準備委員会発足

昭和 45 年度

1970

- 大阪万国博覧会

- 火災見舞金等支給事業
- 昭和 45 年 5 月 30 日 社会福祉法人の認可
- 広報編集委員会設置
- 幼児の交通教室
- 保育園児いもほり大会
- 広報「ふちゅうの福祉」創刊

昭和 46 年度

1971

- 変動為替相場制に移行

- 一人暮らし老人にインターホン取付け事業
- 老人医療調査
- 敬老の日高齢者記念品贈呈
- 一人暮らし老人の名簿作成
- 石油ストーブの正しい使い方講習会

昭和 47 年度

1972

- 沖縄返還
- 田中角榮内閣発足

- 妊産婦の保健と健康実態調査
- 創立十周年記念式典



社協のあゆみ

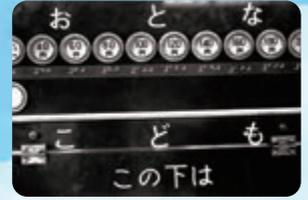
世相

- オイルショック高度経済成長終焉

1973

昭和48年度

- 自動販売機に点字表示
- 高齢者福祉電話事業



- 三木武夫内閣発足

1974

昭和49年度

- 結婚相談所開所
- 電動タイプライター講習会

- 企業倒産増加

1975

昭和50年度

- 視力障害者用カセットレコーダー貸与
- ろうあ者映画巡回映画会
- 老人施設に雨合羽を配付
- 市民まつりで展示 PR 及びバザー

- 福田赳夫内閣発足

1976

昭和51年度

- 母子世帯に塚口奨学金制度開始
- 視力障害者野球大会協力
- 身体障害者福祉電話事業受託
- 父子世帯実態調査
- 朗読ボランティア講習会



- カラオケブーム
- ロッキード事件初公判

1977

昭和52年度

- 老人給食サービス開始
- 府中市理容組合主催合同結婚式開催
- 春・夏中古衣料無料頒布会実施



- 大平正芳内閣発足
- 新東京国際空港開港

1978

昭和53年度

- 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校指定
- 全国高校野球選手権大会西東京予選会臨時売店出店
- 母子（父子）世帯生活実態調査
- 身体障害者手づくりネクタイ講習会



- 東京サミット開催
- インベーダーゲーム流行

1979

昭和54年度

- ボランティアコーナー整備
- ボランティア活動推進地区指定
- 障害者・児いもほり事業
- 母子父子スケート教室開催



- 鈴木善幸内閣発足
- 漫オブーム
- 家庭内暴力深刻化

1980

昭和55年度

- 第1回ボランティア講座開催
- 交通遺児調査



- 神戸ポートアイランド博覧会開催

1981

昭和56年度

- 国際障害者年記念講座開催
- 福祉まつり開催
- 在宅介護教室開催
- ボランティアコーナーニュース発行

- 中曽根康弘内閣発足
- 500円硬貨発行
- テレホンカード発売開始

1982

昭和57年度

- 府中市立心身障害者福祉センター管理運営業務受託
- 府中市立心身障害者福祉センター運営委員会設置
- 朗読ボランティア研修会開催



社協のあゆみ



世相



- 学童クラブ事業の運営受託
- おとしよりの会食会開催
- 創立二十周年大会記念式典

昭和58年度

1983

- ファミリーコンピュータ発売
- 東京ディズニーランド開園

- 一人暮らし高齢者とボランティアとのつどい開催

昭和59年度

1984

- グリコ・森永事件
- 働く主婦半数超え

- 一人親家庭休養事業（日帰り）

昭和60年度

1985

- NTT・JT 発足
- 日航ジャンボ機墜落
- いじめ社会問題化

- 地域社会福祉協議会の発展計画に基づく三ヶ年計画の策定
- 府中ボランティアセンター開所（グリーンプラザへ移転）
- ボランティアセンターニュース発行

昭和61年度

1986

- バブル景気始まる
- 男女雇用機会均等法施行

- 「福祉ボランティアのまちづくり事業」（通称ポラントピア事業）指定
- ボランティア基金設置
- ボランティア活動推進協議会設置
- 家庭介護教室開催

- 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校連絡会

昭和62年度

1987

- 竹下登内閣発足
- 国鉄民営化

- 有償在宅福祉サービス事業開始
- ふれあい募金開始
- 車いす貸出し事業
- 夏のボランティア体験学習開催
- 一人暮らし老人料理講習会開催

- テントの貸出事業

昭和63年度

1988

- 地価高騰
- 東京ドーム完成

- おはようふれあい事業
- ハンディキャブ貸出事業
- 社協バザー開催
- 福祉映画の夕べ
- ふれあい福祉展（昭和天皇のご病気により福祉まつりの名称変更）
- 府中市社会福祉協議会ゲートボール大会開催
- 高齢者のためのボランティア講座

- 親子ボランティア教室開催
- 補装具・介護用品展示会

平成元年度

1989

- 昭和天皇崩御
- 消費税3%実施
- 宇野宗佑～海部俊樹内閣へ

- ふれあい募金箱作成・配布
- ボランティア活動に関する府中市民意識調査
- 福祉団体・作品展示販売コーナー開設
- 中国帰国者歓迎会
- 老人健康講座開催
- 一人暮らし老人観劇会開催

1990

- 秋篠宮創設、紀子様人気
- 東西ドイツ統一
- スーパーファミコン登場

- ひとり親家庭休養事業 親子スキー教室
- 福祉講演会開催



世相

1990

平成2年度

- 府中市立ふれあい会館管理運営事業受託
- 夜間ボランティア講座開催
- シルバー料理教室開催
- 男性のための料理教室開催
- 地域福祉活動委員会発足
- 社会福祉協議会事務所移転（ふれあい会館へ）
- 福祉機器展示室開設



1991

平成3年度

- 湾岸戦争勃発
- ソ連邦崩壊
- 経済安定成長期終焉
- 宮澤喜一内閣発足

- 一人親家庭休養事業（宿泊）
- ボランティア活動のあゆみ「あしあと」発行
- 使用済み切手箱の作成・配布



- ふれあいまちづくり事業の指定
- 福祉意識調査
- 青年ボランティアのつどい開催
- 点字講習会開催
- ふれあいまちづくりのつどい



1992

平成4年度

- 東京佐川急便事件
- 就職氷河期

- どんぐりのつどい（ミニ会食会）
- 福祉機器リサイクル事業
- ハートピアカレッジ開催
- 三世交代流事業



1993

平成5年度

- 細川護熙内閣発足
- 皇太子、雅子様ご成婚
- EU 発足

- 心をつなぐ（ボランティアの感想文集）発行
- 創立三十周年式典の開催



- 心身障害者福祉センター給食事業開始
- 会員制度検討会による会員制度の見直し
- 手作り福祉マーケット
- 会員制度の見直し（新しい会員制度を目指して今後の方向性）
- 中学生・高校生の一日ボランティア体験学習
- 施設・団体対象企業の社会貢献に関するアンケート調査



1994

平成6年度

- 羽田孜～村山富市内閣へ
- ゼネコン汚職事件
- 関西空港開港

- ふれあい府中21プラン（地域福祉活動計画）策定



- 小地域懇談会開催
- 府中市保健福祉人材育成センター運営事業受託
- 府中市保健福祉人材育成センター運営委員会設置
- 府中市立しみずがおか高齢者在宅サービスセンター管理運営事業受託
- 家庭介護冊子配布
- 福祉機器一部販売業務開始
- 中型バス「はっぴんぐ」運行開始
- まちづくり推進委員会設置
- 府中市ホームヘルパー養成講習（2級課程）

1995

平成7年度

- 阪神・淡路大震災
- 地下鉄サリン事件

- ボランティアリーダー研修
- 阪神淡路大震災支援業務

- 小地域ネットワーク活動実施地域発足
- 「福祉マップ」作成実行委員会設置
- 府中市災害協定締結（災害時におけるボランティア活動に関する協定書）

社協のあゆみ



世相

平成7年度

- 会員制度五ヶ年の実施計画発行
- 介護体験誌（しゅんらん）発行

1996

- 橋本龍太郎内閣発足
- 民主党結成
- O-157が蔓延

平成8年度

- しみずがおか在宅介護支援センター事業受託
- 福祉機器リサイクル事業実施
- 福祉ショップ・喫茶コーナー「は〜もにい」運営

1997

- 消費税5%実施
- 山一証券破綻
- 地球温暖化防止京都議定書

平成9年度

- ふちゅうの福祉100号発行記念誌の発行

- 一日ボランティア教室
- 民間賃貸住宅あつ旋事業
- 居住保証事業

1998

- 小淵恵三内閣発足
- 和歌山毒物カレー事件

平成10年度

- 心身障害者福祉センター増改築工事新装部分使用開始
- 心身障害者福祉センター緊急一時保護室開設

- 小学生・中学生のボランティア活動紹介

1999

- 石原慎太郎都知事当選
- EU単一通貨ユーロ使用開始

平成11年度

- 府中市福祉マップ発刊
- 一人暮らし障害者等へ配食サービス事業開始
- 会員制度検討会報告書（会員制度五ヶ年実施計画の検証）

- 会員制度など検討会による会員制度の検討
- 府中市難病患者等ホームヘルパー養成研修
- 会員制度検討報告書発行
- ボランティア保険に関する実情調査
- 地域福祉権利擁護事業受託
- 各種事業における利用者負担金調査
- ボランティア活動実情調査

- ひなまつりのつどい（一人暮らし高齢者会食会）

2000

- 森喜朗内閣発足
- 長引く経済低迷期
- 企業不祥事相次ぐ

平成12年度

- 府中市立しみずがおか在宅介護支援センター開所
- 府中ケアサポートセンター開所
- 介護支援専門員による介護保険相談窓口開設
- 福祉活動推進地区等支援事業
- 府中市介護サービス事業者協議会の事務局開設
- 在宅一人暮らし高齢者保養事業受託
- 地域デイサービス事業
- 府中市精神障害者ホームヘルパー養成研修
- 三宅島雄山噴火災害避難者への生活必需品の贈呈及び慰労会開催
- 社会人ボランティア入門講座
- 府中市介護支援専門員研修

2001

- 小泉純一郎内閣発足
- 米9.11同時多発テロ勃発
- BSE問題

平成13年度

- 府中市在宅介護支援センター（基幹型）の管理運営事業受託
- 府中市地域包括支援センターシステムの管理
- 地域生活・就労支援事業「み〜な」
- 三宅島雄山噴火災害避難者への応急小口資金特別貸付制度創設



社協のあゆみ

世相

- 日朝首脳会議拉致被害者5名帰国
- 日韓W杯開催

2002

平成13年度

- 学校関係者ボランティア研修開催

平成14年度

- 居宅介護事業実施
- 情報公開規程制定
- ボランティア活動懇談会
- ホームページ開設

- イラク戦争開戦
- SARS流行
- 六本木ヒルズ開業

2003

平成15年度

- 福祉協力員制度発足
- 府中市福祉サービス利用者総合支援事業受託
- 子ども発達支援センター事業
- 福祉活動推進支援事業
- 府中市介護サービス空き情報管理システム管理運営事業
- 広報誌「ふちゅうの福祉」に有料広告掲載
- 苦情解決に関する規程制定

- 年金制度問題表面化
- 新潟県中越地震
- 鳥インフルエンザ流行

2004

平成16年度

- 創立四十周年記念誌発行

- 郵政民営化で国政混乱
- ライブドア事件
- 耐震強度偽装問題

2005

平成17年度

- 介護予防推進事業

- 安倍晋三内閣発足
- 村上ファンド事件
- 北朝鮮国際問題化

2006

平成18年度

- 財団法人府中市民福祉公社と統合
- 福祉有償運送事業
- 認知症対応型通所介護事業
- 介護予防認知症対応型通所介護事業
- 府中市権利擁護センター事業受託
- 権利擁護センターふちゅう開設
- 権利擁護センターふちゅう運営委員会設置
- 権利擁護センターふちゅう事例検討会設置
- 法人後見受任検討委員会設置
- 成年後見制度入門講座
- 法定後見事業

- 福田康夫内閣発足
- 食品メーカー偽装問題が相次ぎ発覚

2007

平成19年度

- 障害者就労支援施設就労訓練事業「御休み処」開所

- 麻生太郎内閣発足
- 雇用不安拡大
- リーマンショック

2008

平成20年度

- 府中市高齢者住宅管理業務受託
- エコキャップ収集活動
- 地域福祉活動計画策定委員会設置
- 府中市居宅介護支援事業者連絡会への協力
- 府中市市民後見人養成講座
- 市民後見人推薦委員会設置

- 鳩山由紀夫内閣発足
- 政権交代に沸く
- 世界同時不況顕在化

2009

平成20年度

- ふちゅう大好き！ささえあいプラン 第二次地域福祉活動計画策定

平成21年度

- 地域包括支援センターしみずがおか管理運営事業受託
- 事業実態調査
- 府中市住宅手当緊急特別措置事業受託
- 臨時つなぎ資金貸付事業



社協のあゆみ



世相



- 会員制度検討会報告
- 府中市社会福祉協議会発展・強化計画策定

平成21年度

2010

- 菅直人内閣発足
- 尖閣諸島問題

- 府中市認知症見守り等支援事業受託
- 指定管理者研究会設置

平成22年度

- 東日本大震災支援業務

2011

- 東日本大震災、原発事故で甚大被害
- なでしこジャパン、サッカー W 杯優勝
- 野田佳彦内閣発足

平成23年度

- 成年後見人地域支援事業
- ひとり暮らし高齢者等地域支援事業受託
- 障害者雇用促進検討プロジェクトチーム設置

平成24年度

2012

- 安倍晋三内閣発足
- 金環日食、932年ぶり広範囲観測
- 東京スカイツリー開業

- あんしん支援事業開始
- バス利用助成事業

平成25年度

2013

- 各地で記録的な猛暑
- 富士山が世界文化遺産に登録

- 福祉エリア6圏域に新福祉協力会を設置
- 権利擁護センターふちゅうで「未来ノート」～わたしの生き方整理帳～作成
- 創立五十周年記念式典の開催

平成26年度

2014

- 消費税率5%から8%へ

- 押立文化センターエリア・車返団地をモデル地区とし「わがまち支えあい協議会」準備委員会立ち上げ

平成27年度

2015

- 終戦70年
- 東日本大震災で被災した石巻線が全線再開

- 第3次地域福祉活動計画「あったか府中 ささえあいプラン」6カ年計画を策定
- 地域福祉コーディネーターを11文化センターエリアに配置

平成28年度

2016

- 軽井沢スキーバス転落事故
- 伊勢志摩サミット開催
- リオデジャネイロ五輪開催

- 押立文化センターエリアで「押立・車返 ささえあい協議会」が立ち上がる
- 第3期指定管理者として「ふれあい会館」「しみずがおか高齢者在宅サービスセンター」「心身障害者福祉センター」3施設の指定を受ける



社協のあゆみ

世相

2017

平成29年度

- 子ども発達支援センターあゆの子分室をしみずがおか高齢者在宅サービスセンターに開設
- 社会福祉法人制度改革（社会福祉法改正）

2018

平成30年度

- 平成30年7月豪雨
- 北海道胆振東部地震
- テニス大坂なおみ選手全米オープン優勝

- ふれあい会館が府中町へ移転
- 四谷文化センターエリアで「ささえあい四谷」が立ち上がる



2019

平成31年度（令和元年度）

- 皇位継承「平成」から「令和」へ
- 京都アニメーション第1スタジオで放火
- 消費税8%から10%へ
- ラグビーワールドカップ日本代表初のベスト8

- 住吉文化センターエリアで「住吉・分梅・南町ささえあい協議会」が立ち上がる

2020

令和2年度

- 新型コロナウイルス感染症が世界規模でパンデミック
- 東京2020オリンピック・パラリンピック延期
- スーパーコンピュータ「富岳」が計算速度世界1位に
- 令和2年7月豪雨災害
- 菅内閣発足

- 中央文化センターエリアで「中央ささえあいの会」が立ち上がる
- 是政文化センターエリアで「わがまち支えあいの会～小柳・是政・清水が丘エリア～」が立ち上がる
- しみずがおか高齢者在宅サービスセンター廃止



2021

令和3年度

- 新型コロナウイルスワクチン接種始まる
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催
- 岸田内閣発足

- 第4次地域福祉活動計画（6カ年計画）始まる
- 全11文化センターエリアで「わがまち支えあいの協議会」が立ち上がる
- 第4期指定管理者として「心身障害者福祉センター」の指定を引き続き受ける
- 府中市成年後見制度利用促進基本計画で位置づけられた中核機関を受託
- 支援対象児童等見守り強化事業受託
- 産前産後家事・育児支援事業受託



2022

令和4年度

- ロシアがウクライナ侵攻
- 成年年齢が18歳に引き下げ
- 安倍晋三前総理銃撃事件

- 住宅セーフティネット住まい相談事業受託
- 地域包括支援センターしみずがおかが押立町に移転
- 第42回福祉まつりを初めてけやき並木通りで開催



社会福祉法人 府中市社会福祉協議会 職員紹介



総務課



総務係・役職員



府中ケアサポートセンター

地域活動推進課



まちづくり推進係



府中ボランティアセンター



地域包括支援センターしみずがおか



は～もにい





心身障害者福祉センター



作業生活実習訓練係



地域生活支援係



子ども発達支援係



管理係

権利擁護課



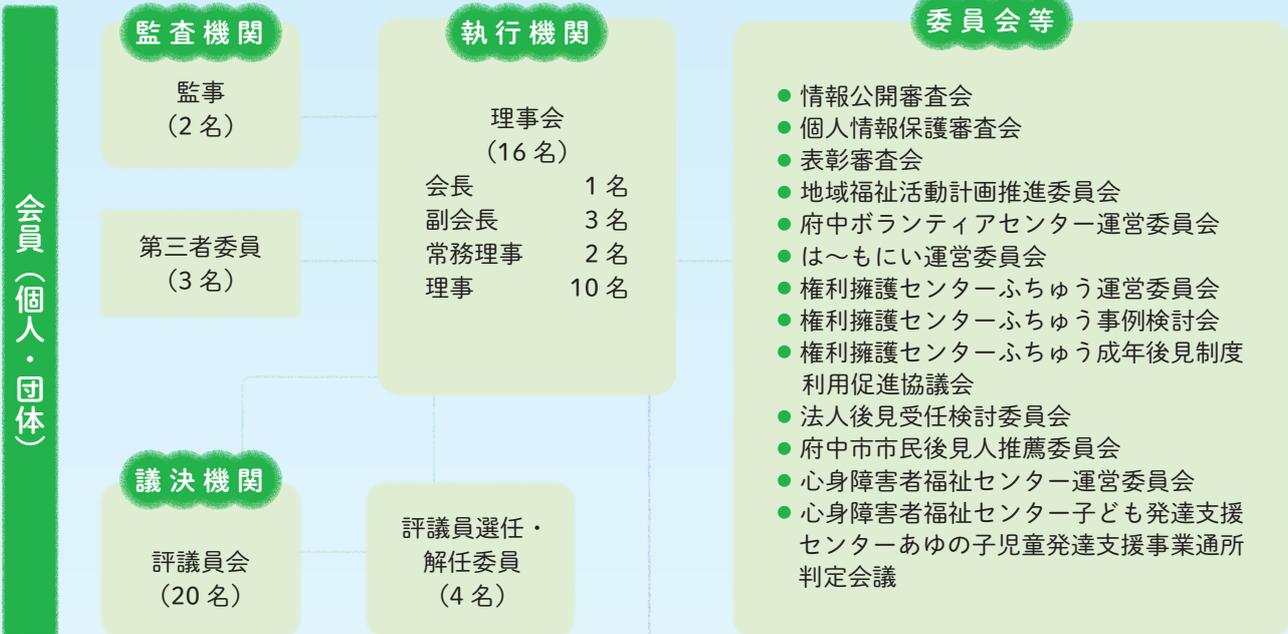
権利擁護センターふちゅう

権利擁護係

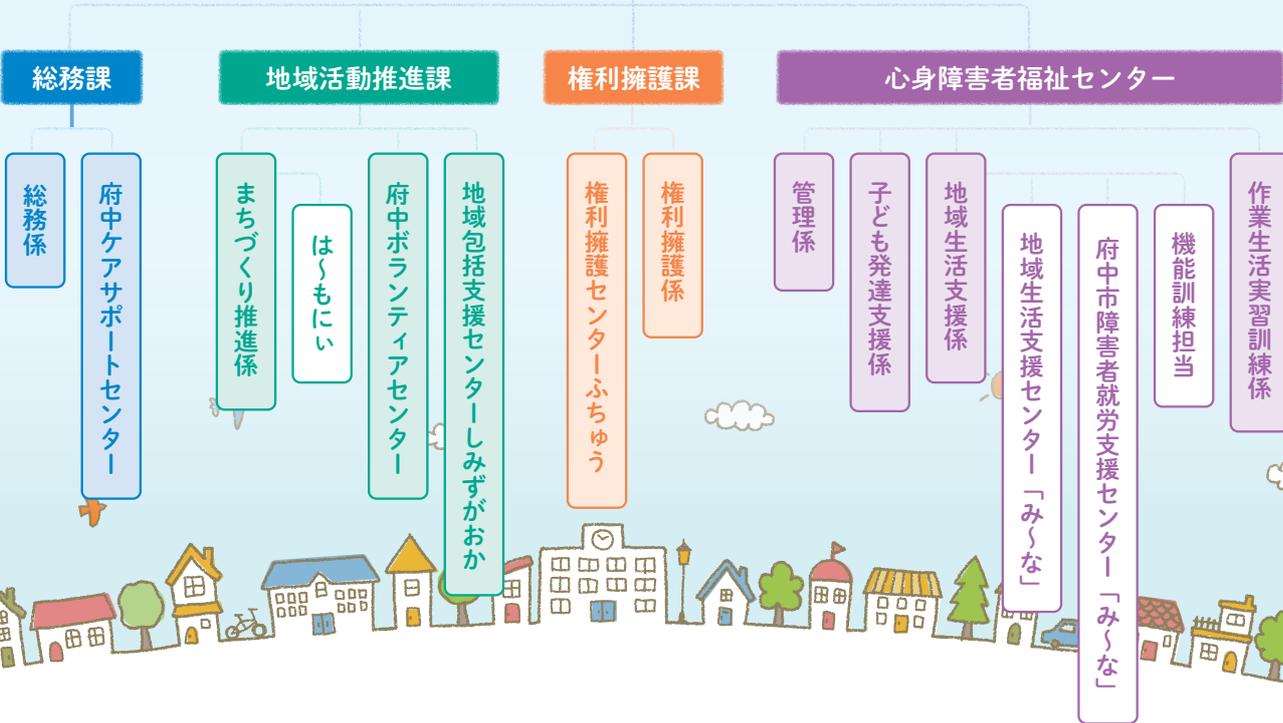
組織図

設置規定	社会福祉法第109条
創立年月日	昭和38年10月29日
認可年月日	昭和45年5月30日
主たる事務所の所在地	東京都府中市府中町1丁目30番地
法人の代表者	伊藤 敏春

府中社協は
皆様のおかげで
60周年を
迎えました！



事務局



社会福祉法人 府中市社会福祉協議会



Thank You



社会福祉法人府中市社会福祉協議会創立 60 周年記念誌

令和 5 年 10 月 29 日発行

発行・編集 社会福祉法人府中市社会福祉協議会

東京都府中市府中町 1 丁目 30 番地 府中市立ふれあい会館内

電話 042-364-5137 (代表)

F A X 042-362-9090

メール mail@fsyakyo.or.jp

ホームページ <http://www.fsyakyo.or.jp/>

